



日本共産党松浦市議会議員  
安江ゆう子の  
市議会だより

3月議会

## 安江市議の一般質問

### 新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスによる国内感染が拡大する中、安倍首相は2月27日に専門家の意見を聞くこともなく、科学的根拠もないままに、全国一斉の小・中・高校の休校の要請を行いました。

松浦市は3月4日から休校することを決めましたが、十分な準備のないまま見切り発車となり、市民の中で困惑が広がっています。安江結子市議は3月3日の一般質問でこの問題を取り上げました。

### 家庭で世話できない低学年の子どもは学校で受け入れる

安江 小学生の子どもを持つ保護者の方から「子どもだけを家に置いとくのは心配」との声が寄せられています。市はどのように対応されますか。

教育長 まず、この新型コロナウイルスに付きまちは、子供たちの健康・安全を第一に考えておりまして、人の集まる場所等への外出を避け基本的には自宅で過ごさせるということにしている所です。しかしながら、保護者が仕事で昼間家庭にいらっしやらない子供もおりますし、小

学校低学年の子供の場合は留守番が困難であるという風な



▲松浦市こどものいえ

こともございます。従いまして、そういう場合に関し、昨日も校長会を開きまして対応

についてお聞きしました。その中では学童保育とは別に小学1年から3年生までの児童、それから4年生から6年生のなかで、特別支援学級に通っている子供たちに対して

### 学童保育の受け入れは

安江 学童保育はどうなるのか。

市長 学童の受け入れ数はあと1割ほどある。どうしても自宅で過ごせない子、特別な事由がある場合学校で受け入れる。



も、保護者や兄弟とその子を看護する者がどうしてもいない場合は学校で受け入れる体制を作るということで協議をしたところでございます。対

### 子ども達への学校の対応は直通電話の設置を

安江 家庭で過ごす子ども達への学校の対応はどうするのか。

教育長 家庭訪問する、電話で訪問するとか、常に子ども達の様子をしっかりと把握

しながら、個別に本人、保護者への指導をするなどの対応をしていく。

安江 子どもや保護者から直通電話相談できるように直通電話の開設はできないか。

教育長 不安に思った時の相談は要る。相談の場は何といても学校、担任。受け皿として学校教育課が適切。そちらにつなげるような体制をできるだけ取るようにしたい。

学校教育課長 学校の電話番号と合わせて、学校教育課にも直通番号があるので、それを知らせる。

子育て・子ども課長 感染のリスクが高くなる状況は想定している。認定している利用者の全てを受け入れるのはむづかしい。大方半数の保護者が学童利用を言われている。学童利用が多くなると感染のリスクが高くなるので、その時は学校の利用もある。